

デザイン力と最新の技術で理想のクルマを追求する



株式会社クールホールディングス



企業概要

代表取締役社長

片岡 孝裕氏



所在地 (本社) 愛知県名古屋市緑区大根山2-503

TEL:052-618-8120 FAX:052-693-9894

設立 株式会社クールホールディングス：2019年4月

株式会社ルーフコーポレーション：2007年1月

資本金 9,900万円

従業員数 140名(2025年3月現在)

事業内容 カスタムカーの製造・販売

エアロパーツ、ホイール等各種車両付属品の製造・販売

URL <https://kuhl-hd.co.jp/>

車への情熱を動力に！
顧客のニーズを的確に捉え、自動車業界の未来を切り開く
**独自の戦略と革新技术で
業界の最前線へ**

名古屋市緑区に本社を構える株式会社クールホールディングスは、カスタム新車・中古車の販売を主軸とする5社を傘下を持つ自動車関連企業である。2007年に株式会社ルーフコーポレーションとして事業をスタートした同社は、無類の車好きである片岡社長のこだわりが詰まったエアロパーツブランド「KUHL」を看板商品とし、顧客日線を第一にしながらも、変化を厭わない攻めの姿勢で新たな事業展開に舵を切りながら、2019年にホールディングス化、現行の組織体系となった。

全国規模のモーターショーで数々のグランプリを獲得し、今年1月に開催された東京オートサロン2025でも「ドレスアップ・スポーツカー部門」にて最優秀賞を受賞した同社は、今やカスタムカー愛好家の間だけではなく、

自動車メーカーからも一目置かれる存在となっている。

多数の受賞に裏付けされるデザイン性と塗装・板金整備の技術力で、自社オリジナルのエアロパーツ、アルミホイールなどを企画開発・製造、また独自の販売システムを導入。コアなファン層だけでなく、新たな顧客層への売上も伸ばし、現在では、全国に9つの販売ディーラー、4つのストアおよび無人店舗を展開、今年1月には念願の東京進出も果たした。



今年1月にOPENした東京八王子店



最新技術の真空注型機

コロナ禍での大幅な方向転換から、現在、新車と中古車の両輪で事業を拡大している同社は更

クルマを「楽しむ」文化を広める企業へ

推進。若手社員の役員起用や社員のデザインコンテストを開催するなど、モチベーション向上施策も積極的に行う。その知名度から、車への情熱を持った向上意欲の高い人材が集まるが、その中でも人としての魅力やコミュニケーション力の高い人材を採用することで、専門性の追求と顧客満足の双方を満たす取り組みを実現、リピーターを増やし続けている。

幼少期からの情熱が今の事業の原点

同社がここまで成長し、顧客の心を掴んで離さないのは、片岡社長の並々ならぬ車への情熱による。幼少期から車が大好きだったという片岡社長は、アニメやコミックなどに描かれたスーパーカーに憧れ、理想とする車のイラストを描き続けた。

大学卒業後、製薬会社勤めのものの、収入の大半を車のカスタマイズに費やす日々を送っていた片岡社長は、車への情熱を抑えきれず大手中古車販売店に転職を決意、業界で経験を積んだ後、遂に自身でカーカスタマイズ事業を立ち上げたのである。

時代を見据えた企業戦略と困難をチャンスに変える姿勢

同社がニッチなカーカスタム事業でありながらも大きな成功を収めた理由には、主に3つの要因がある。

一つは片岡社長独自のデザイン哲学だ。理想のクルマを追求する中で、社長自らパーツデザイン

を行うようになり現在多くのファンから支持されるKUHLブランドのデザインは、社長の幼き日の憧憬が形となったものだ。見た目だけでなく、最新技術を駆使したエアロパーツのモデリングにより実用性と美しさを両立。近年では、クロスオーバーカーを主軸とした新ブランド「VRARVA」の開発も手掛け、より幅広い層へとアプローチしている。

二つ目はYouTubeやブログを積極的に利用した情報発信と販売戦略である。YouTubeチャンネル「KUHL Racing TV」は登録者26.7万人を誇り、カスタムカーに関心を持つ人に自社の取り組みや商品ダイレクトにPR出来る場となっている。またチャンネル運営により得た視聴者の居住地域や購買意欲データをもとに店舗展開を行うなど、事業戦略の有効な情報ソースとしても活用。次なる事業拡大に役立てている。

三つめは、独自の販売システムの導入だ。2020年以降のコ

ロナ禍で、新車の供給が滞り、売上の大半を占める新車販売事業が大きく減速。特にアルファードやヴェルファイアといった主力車種の供給停止は、業績に深刻な影響を及ぼした。この危機を乗り越えるため、戦略を転換。それまで新車コンプリートカーを売上の主軸としてきたが、中古車市場や、パーツのみの販売に目を向けた。

車両購入の為に自動車ローンは、パーツのみの購入時には使えない場合がある。その、買いたいけど買えないを解消するため、に考案されたのが「クールバック」だ。エアロパーツを中心に足回り



YouTubeチャンネルトップ画面

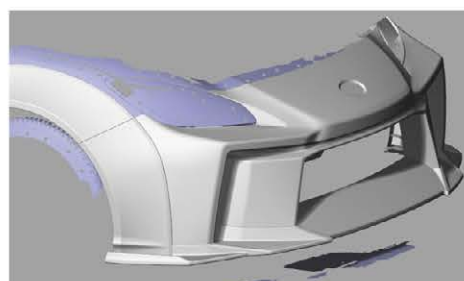
でにOEM事業を手掛け、現在大手ディーラーとの交渉も進行中だ。

また、海外事業についても、マレーシアやシンガポールといった東南アジア市場で、現地代理店と提携。カスタムパーツの供給を開始し、市場拡大を図る。時代の変化に即応する戦略は、今後の同社の持続的な成長に繋がる。

顧客の期待を超える価値を共に創造するパートナー

さらに、今後はEV（電気自動車）や水素自動車などの次世代モビリティにも対応したカスタム技術の開発を進める。環境規制が厳しくなる中で、持続可能なビジネスモデルの構築が求められるが、最新のテクノロジーを武器に積極的に参入していく。また、デジタルプラットフォームを使ったオンラインカスタムオーダーシステムを開発中。ユーザーがスマートフォンやPCから直感的にカスタム車両を設計・注文できる環境を整え、顧客体験を大幅に向上させることを目指す。

最終目標は自社で車のボディ



CAD設計で行われる3Dモデリングと3Dプリンターによる機械加工はこれまでの作業プロセスを一新

などをパッケージ化し、最長36回の無金利分割払いを提供するサービスで、頭金不要。月々定額払いで、即座に愛車をカスタムできる仕組みは、顧客層を広げた。また、その購入パーツが装備された車両を買い取る際に、顧客に最大50万円の金券を提供する買取保証システムも導入。パーツ売上は前年比2倍に拡大した。

人材育成と組織文化情熱と挑戦を支える力

若手社員の採用・育成にも力を入れており、給与評価制度の充実や社員同士のコミュニケーションを促進する環境づくりを

製造を手掛けるメーカーへと成長し、日本全国に店舗を構えること。クールホールディングスは、世界にその名を轟かせ、カーカスタム業界を盛り上げながら、ただの販売企業にとどまらない自動車文化そのものを発展させる革新的な企業として、これから挑戦を続けていく。

編 会員事業部 山本奈月

支店より一言

片岡社長は根っからの「車」好き、お会いするといつも楽しそうに仕事をされている姿が非常に印象的です。子供の頃に思い描いていた「カッコいい車」を、自らの手で現実の世界に作り出すだけに留まらず、今やカスタムブランドとして自動車メーカーからも一目置かれる存在です。今後、「世界中に車を愛する人々を増やしていく」ため進化し続けている「KUHLブランド」に注目です！



百五銀行 大高支店長 勝田 直樹